

民生委員アンケート 調査結果

荒尾市地域公共交通活性化協議会

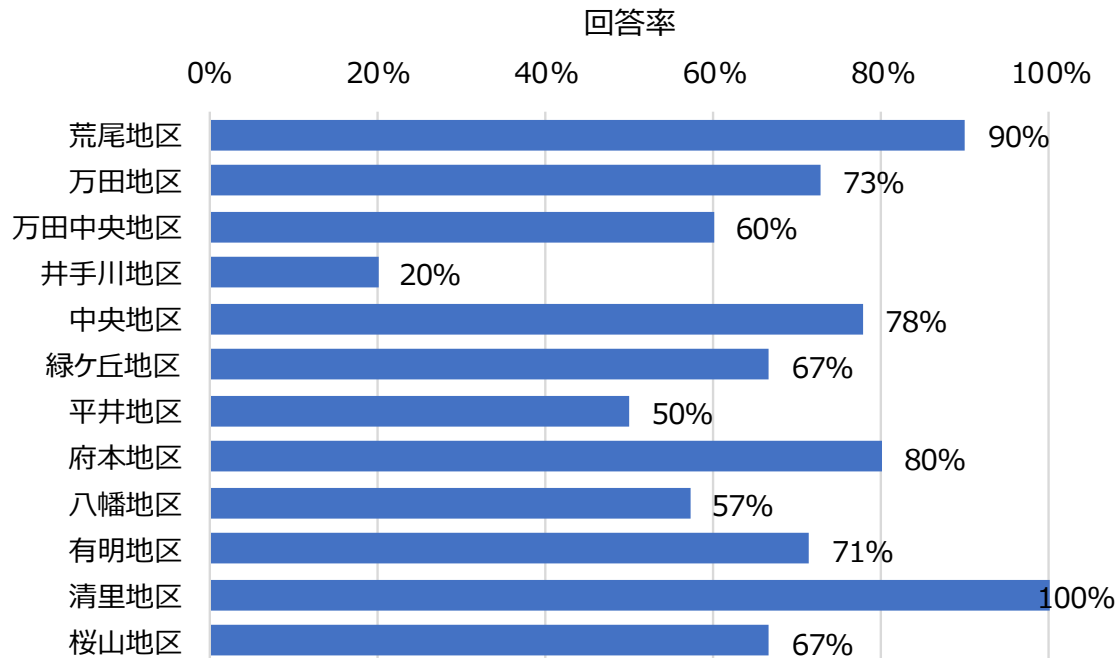
平成30年1月23日

調査の実施概況・回収結果

実施方法・回収結果

- 本市の民生委員80名全員に対して直接配布・郵送回収によるアンケート調査を実施し、計58名(68行政区)から回収した。

■ 地区別の回答率

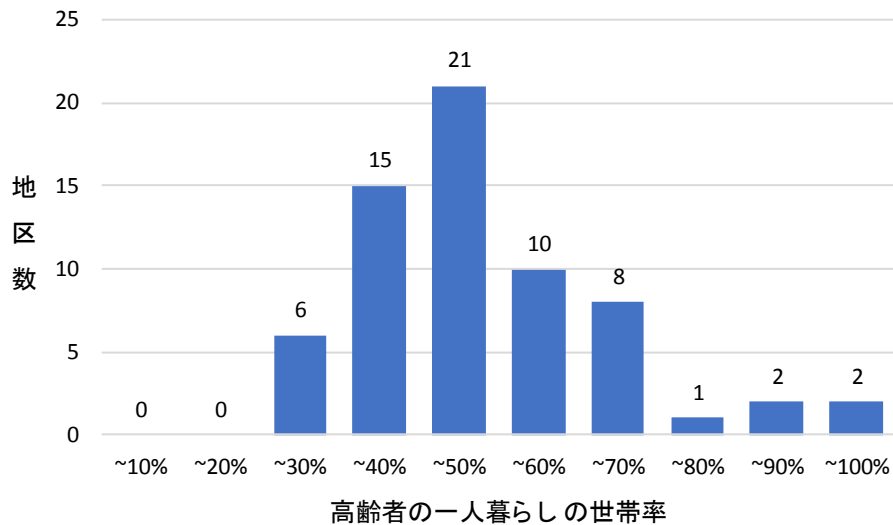


地区の状況

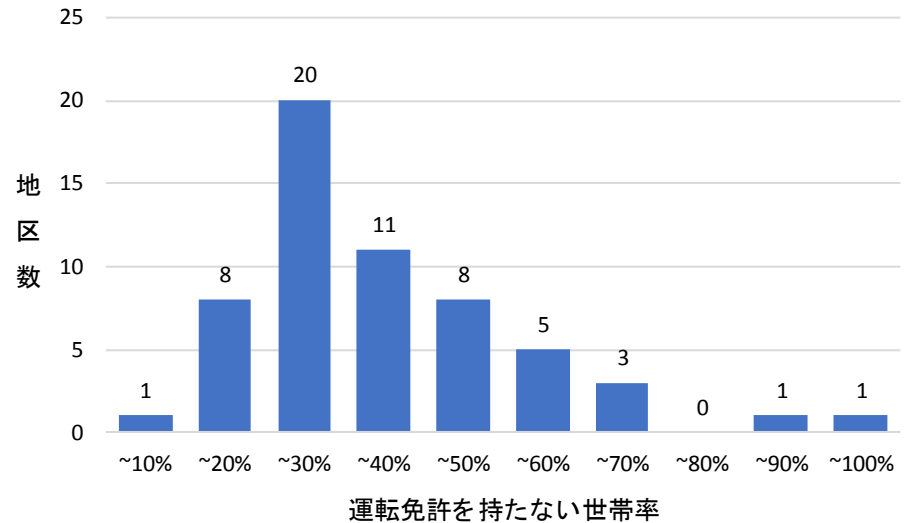
一人暮らし世帯、運転免許を持たない世帯の割合

- 高齢者の一人暮らし世帯の割合は、高齢世帯の半数に達する地区が最も多く、ほぼ全世界帯が一人暮らしとなっている地区も存在している。
- 自動車運転免許を持たない世帯の割合は、高齢世帯の3割程度に達する地区が最も多いが、地区によっては半数以上となっているところもある。

■ 高齢世帯のうち、一人暮らし世帯の割合



■ 高齢世帯のうち、運転免許を持たない世帯の割合

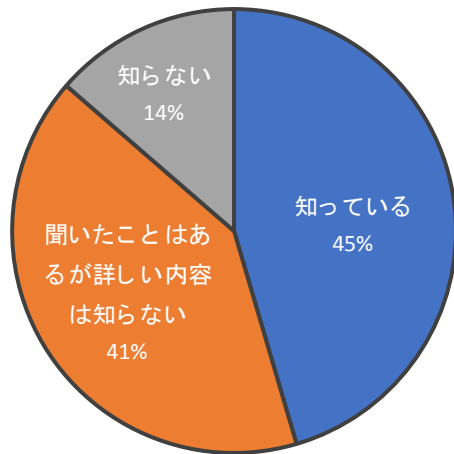


地区の状況

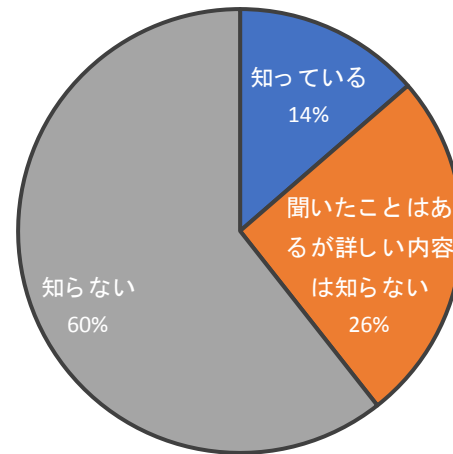
荒尾市による移動支援施策の認知度

- 福祉特別乗車証について十分に認知している民生委員は約半数にとどまっており、「知らない」との回答も1割以上存在することからも、詳細な内容が十分に伝わっていないことが懸念される。
- また、荒尾市社会福祉協議会によって取り組まれている移動支援施策については、「知っている」との回答が2割未満にとどまり、十分に認知されていない。

■ 福祉特別乗車証の認知度



■ 荒尾市社会福祉協議会による移動支援（地域団体への車両貸出し）の取り組みの認知度



地区の状況

公共交通の課題や意見

- 移動のニーズはあるが既存の公共交通網では行きにくい場所として、「中央公民館」や「文化センター」などの活動拠点や、「ダイレックス」や「鮮ど市場」などの商業施設が挙げられている。
- 「ゆめタウン大牟田」をはじめ、「天領病院」や「永田整形外科病院」などの大牟田市内への移動ニーズもある。
- 路線バスに関しては、全般的に「バス停までが遠い」ことや「運行ダイヤが利用しにくい」ことなどの意見が多かった一方、井手川・八幡地区では「バス停まで坂があり歩くのが大変」という意見が見られ、運行路線の多い桜山地区では、「順路が分からず利用しにくい」といった意見もあった。

地区	公共交通で行きたい場所	主な意見
荒尾地区	あらおシティモール、中央公民館、荒尾駅等	1時間に1本やそれ以下の路線があり便数が少なく使いにくい
万田地区	ダイレックス、鮮ど市場、ゆめタウン大牟田等	バス路線がない、バス停まで遠い、ダイヤが少なく帰りに使えない
万田中央地区	市民病院、天領病院、永田整形外科病院等	病院の受付に間に合わない、帰りの便がない、フリー乗降にしてほしい
井手川地区		坂が多く歩くのが大変
中央地区	市民病院、市役所、図書館等	バス停まで1km程度歩く地区がある、便数が少ない
緑ヶ丘地区		便数が少なく行き帰りの時間が合わない
平井地区	市民病院、荒尾駅	料金が高くなっても良いので市民病院への乗入れを検討してほしい
府本地区	大牟田市方面	乗合タクシー乗り場まで遠く不便
八幡地区	玉名市方面	バス停まで坂があるため徒歩では辛い、便数が少ない
有明地区	市民病院、市役所等	バス停まで徒歩で30分程度かかる地域がある、長時間待っている人をよく見る
清里地区		病院に間に合わない、帰りの便がない、便数が少ない
桜山地区	文化センター、市民病院、シティモール等	バス停まで1km離れている地区がある、順路が分からない